

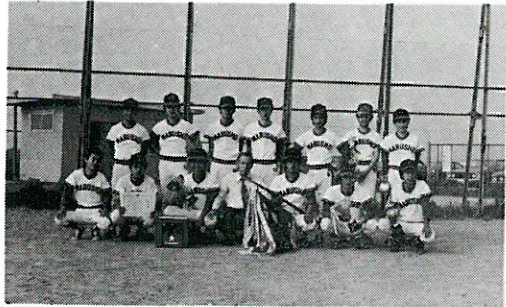
### 熱戦おわる(株)丸昌初優勝!

第10回商社対抗野球大会は、5月10日より問屋センター球場で参加35チームにより行われていたが7月9日決勝戦を行い、(株)丸昌が森佐(株)を熱戦のすえ破り初優勝を飾った。

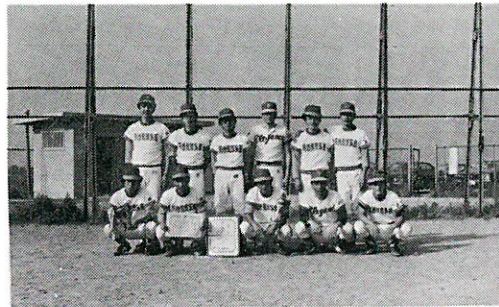
回を重ね今年で第10回目となった本大会は全般的に各チームの力が平均しており、接戦の試合が多く、有力な優勝候補とみられたチームが早々と敗退する中で、優勝、準優勝した両チームはスタープレーヤーこ

そいなかったが投打走守によくまとまっており、野球本来の姿であるチームワークで栄冠を手にしたことに称賛したい。

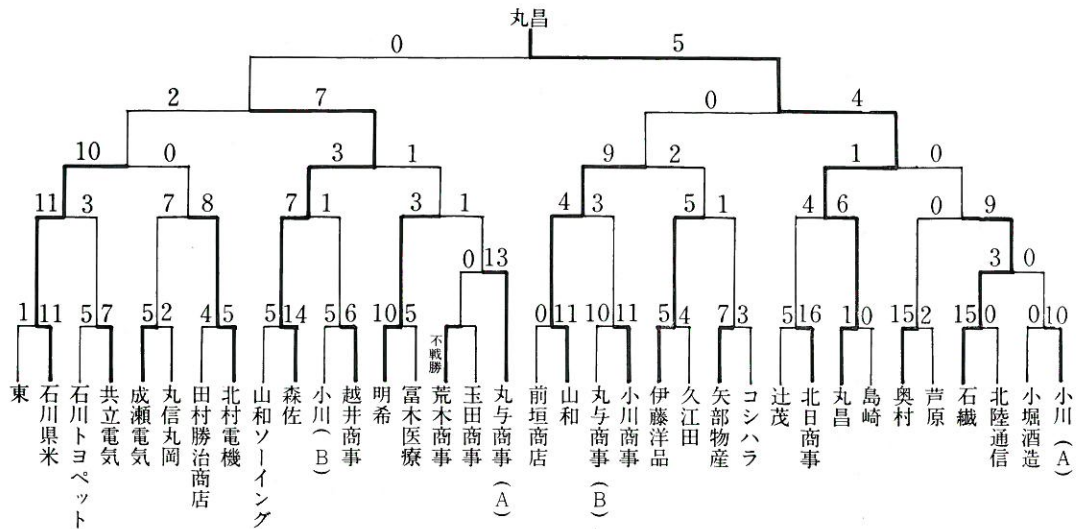
- 優勝 (株)丸昌
- 準優勝 森佐(株)
- 第3位 山和(株)
- 〃 石川県米穀(株)
- 最高殊勲選手賞 (株)丸昌 本選手
- 敢闘賞 森佐(株) 岩佐選手
- 打撃賞 (株)丸昌 大河選手



優勝 (株)丸昌 チーム



準優勝 森佐(株) チーム



### 第7回麻雀大会

6月26日開催  
140名参加

40位迄入賞、上位10名は次の方々です。

- 優勝 永和設備工業(株) 林選手 1297百点
- 2位 (株)松本紙店 宮本選手 760百点
- 3位 (株)丸菱 北村選手 665百点
- 4位 森佐(株) 森選手 665百点
- 5位 北日商事(株) 北野選手 585百点
- 6位 共栄商会 河合選手 583百点
- 7位 (株)土谷商店 手井選手 560百点

- 8位 (株)松本紙店 大野木選手 534百点
- 9位 (株)丸菱 田中選手 502百点
- 10位 山和(株) 鳴尾選手 496百点



第9号 1977年7月30日発行  
協同組合 金沢問屋センター  
発行者 小川 甚次郎  
金沢市問屋町1丁目  
電話 37-8585



7月23日開催した第10回納涼盆踊り大会

### 完成10周年を迎えて

完成10周年記念事業委員長  
大沢 銈人



金沢市内に店舗を有する卸売業者の集団化を目的として、協同組合金沢問屋センターを結成発足したのは昭和38年9月である。同年中に国の高度化資金適用の指定を受け、以来4年の歳月をかけ、当時は未だ交通の便悪く都心をかけ離れた田圃の真中に、最も近代的な街造りをし、華々しく完成式典を挙げたのは42年10月で、今年はその満10年経ったことになる。昔を知る人は現在の問屋センター並環境を見て正に今昔の感を覚えることでしょう。この10年を一つの節とし更に大きく飛躍する為に、温故知新先達の苦心の跡を顧み次代を背負う若い力を結集し、10月初旬完成10周年記念週間と銘打って、諸々の記念行事を取行うべく着々準備を進めているのであります。

先づ記念誌「金沢問屋センター10年の歩み」を刊行し関係方面へ配布、10月2日には組合創設以来苦楽を共にし乍ら既に故人となられた22組委員の追悼法要を御遺族を迎え、全組合員出席して東本願寺別院で取り行い、4日には約1,000名の社員参加し奈良薬師寺管長高田好胤師の記念講演、続いて関係各方面の御来賓を迎えて記念式典並優良社員、功労者の表彰、来賓組合員に依る記念パーティ、5日を前日とする6、7の両日はお得意先を招待しての記念販売大会、併合して「じゅらく帯展示即売会、グループサウンズ ミグリンジャンデリア」の若者達に依る歌とバンド、一流モデルの国際衣装ショーと日本舞踊、県内選り抜きの板前さんが競う氷の彫刻競技会、自動車ショー等盛り沢山の趣向を凝らし御来場のお得意先には記念品を贈呈し、特設会場にとりどりの屋台を設け、美女を侍らせての飲食サービスを予定して居ります。

最終の8日は組合員並家族を主体として、A・B公園一帯で園遊会、のみの市販売大会、特設会場での演芸大会、会館ホールでのアマチュア美術展、社員子弟の大鼓行列等を催し一方期間中間屋神社の秋祭りも行われ、大変な賑わいを見る事と存じます。これを機会にお得意先並びに関係各位の御来場を心からお待ち申し上げる次第です。

# 第14回通常総会開催



当組合の第14回通常総会は去る5月24日、午後1時より問屋町会館2階ホールで開催された。

小川理事長挨拶のあと、大沢副理事長が議長に選出され議案審議に入った。

**第1号議案** 事業報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認及び監査報告の件  
議長は事業報告について伊藤総務委員長に貸借対照表、損益計算書、財産目録については越原財務委員長に、それぞれ説明を求めた後、議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認した。

**第2号議案** 損失金処理(案)承認の件  
議長は越原財務委員長に説明を求めた後議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認した。

**第3号議案** 出資金及び賦課金増額承認の件  
議長より、越原財務委員長に説明を求めた後議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認した。

- 1、出資金増額  
昭和52年8月1日現在出資総額の増額する
- 2、賦課金増額基準
  - (1) 均等割、年間1組員12,000円を30,000円に増額する
  - (2) 面積割年間3.3㎡250円は現在どおり
  - (3) 人員割年1人1,200円を新たに加える

**第4号議案** 昭和52年度事業計画(案)承認の件  
議長より、伊藤総務委員長に説明を求めた後、議場に諮ったところ、全員異議な

く、原案通り承認した  
**第5号議案** 昭和52年度収支予算(案)並びに昭和52年度賦課金の賦課徴収方法承認の件  
議長は越原財務委員長に説明を求めた後、議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認した

- 1、人員調べは毎年4月10日現在で行なう  
ただし非常勤役員を除く、常勤家族は含む
- 2、賦課金は年4回均等割し、下記期日までに納入する

昭和52年6月20日  
8月20日  
10月20日  
12月20日

**第6号議案** 昭和52年度借入金の最高限度額承認の件  
議長は、越原財務委員長に説明を求めた後、議場に諮ったところ全員異議なく、原案通り承認した。  
借入金最高限度額 4,000,000千円

**第7号議案** 組合員の脱退承認の件  
議長は伊藤総務委員長に説明を求めた後、議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認した

松本株式会社、株式会社北陸破砕機センター、大倉新光株式会社、山崎電機株式会社、株式会社不二家

**第8号議案** 定款の一部改正の件  
議長は伊藤総務委員長に説明を求めた後議場に諮ったところ、全員異議なく、原案通り承認した

議案審議終了後、来賓の挨拶があり午後2時半に閉会した

- 来賓 中西石川県知事  
西村金沢市経済部長  
樋田金沢商工会議所専務理事  
田中石川県中小企業団体中央会専務理事  
太田石川県商工課長補佐  
山口商工組合中央金庫金沢支店長  
水口北国銀行問屋町支店長  
多田北陸銀行金沢問屋町支店長

## 繊維同業会総会開催

金沢問屋センター繊維同業会はさる、5月12日通常総会を開き新年度事業計画を決めたほか、役員改選を行い新会長に越井清太郎氏を選出し、寺井利光前会長は相談役に就任した。

新年度事業計画としては10月4日に行われる10周年記念式典を中心にセンターの記念事業に積極的に参加するほか、独自の催しを企画している。

新役員は次の方々です。

顧問	小川 甚次郎	小川 綸
相談役	寺井 利光	丸与商事綸
"	小川 三郎	小川商事綸
会長	越井 清太郎	越井商事綸
副会長	森 佐久次	森佐綸
"	来馬 満春	綸丸昌
"	宗広 満夫	山和綸
理事	大沢 銈人	綸大沢商店
"	伊藤 四郎	伊藤洋品綸
"	越田 春雄	玉田商事KK
"	島崎 政幸	島崎綸
"	多田 与二	多田与綸
"	岡田 寛	綸三玉商店
"	田村 憲司	綸田村勝治商店
"	横井 隆志	小川綸
"	松村 久	石織綸
"	八田 隆年	丸与商事綸
"	小川 栄一	小川商事綸
"	奥村 利貞	奥村商事綸
監事	室 七勇	綸室七
"	北島 成至	北島綸

8月以降の事業計画は次の通り

- 52年8月4日(木)~5日(金) オール適品セール
- 18日(木)~19日(金) 下旬売出協定日
- 9月7日(水)~8日(木) 秋の繊維まつり  
(第20回石川県繊維製品卸見本市)
- 21日(水)~22日(木) 下旬売出協定日
- 10月6日(木)~7日(金) 完成10周年記念特別販売大会
- 20日(木)~21日(金) 多びす講
- 11月8日(火)~9日(水) 大黒祭
- 17日(木)~18日(金) 年末謝恩超特価現金セール
- 12月7日(水)~8日(木) 歳の市
- 19日(月)~20日(火) 納めの市
- 53年1月6日(金)~7日(土) 初市
- 19日(木)~20日(金) 下旬売出協定日
- 2月3日(金)~4日(土) 78年新作春物セール
- 16日(木)~17日(金) 下旬売出協定日
- 3月8日(水)~9日(木) 春の繊維まつり  
(第21回石川県繊維製品卸見本市)
- 22日(水)~23日(木) 下旬売出協定日

## 百貨同業会部会編成表

金沢問屋センター百貨同業会(会長辰川申治)では毎月1回部会毎に定例会を開催し、会員相互の親睦を図ると共に卸売業の向上発展に対する近代化、合理化の勉強を行っております。

部会構成メンバーは次の通りです。

第1部会編成表  
担当 1、2、 越原副会長  
3、4、 荒木副会長

- 1、食料品部会 部長 須田理事  
須田 綸 石川 糧 穀 綸  
石川県米穀 綸 金 糖  
綸 小堀酒造店 齊田 商店  
百萬石酒造 綸 丸信丸岡屋商店  
丸西食品工業 綸 紙谷物産
- 2、事務用品部会 部長 楠理事  
クスノキ 綸 コシハラ  
綸 寿商會 綸 佐野紙店  
尚和印刷 綸 綸 松本紙店  
矢部物産 綸 理光商事 綸
- 3、家庭用品部会 部長 笠師理事  
綸 丸菱商會 荒木商事 綸  
綸 川 助 綸 湯浅惣兵衛本店  
綸 吉野利工具 島田商事 綸  
綸 堀川商店 共栄商會  
綸 土谷九兵衛商店 北陸ベイント 綸
- 4、履物・袋物部会 部長 今井理事  
弘進ゴム 綸 石川東洋ゴム販売 綸  
勝尾商事 綸 加陽月星ゴム 綸  
綸 永井商店 綸 竹村商會  
石川ゴム製品 綸 綸 橋爪商會

第2部会編成表  
担当 1、2、 富木副会長  
3、 平野副会長

- 1、設備関連部会 部長 堂上理事  
共立電機販売 綸 東和工業 綸  
成瀬電気工事 綸 安井電機 綸  
綸 立元商店 川上商店  
野村産業 綸 武田商事 綸  
永和設備工業 綸 綸 タ マ イ  
北陸通信工業 綸 富木医療器 綸  
共栄電機 綸 綸 五井建築設計研究所  
ナカダ 藤木工業 綸
- 2、資材納品部会 部長 井上理事  
金沢機工 綸 綸 辻 茂  
同信産業 綸 綸 東山 商會  
泰和ゴム興業 綸 綸 八木 熊  
秋常金属 綸 綸 北村電機産業 綸  
綸 スズケン 明 希 綸  
綸 井口商店 中 橋 綸
- 3、市販部会 部長 柚木理事  
綸 武蔵電業社 綸 金沢度量衡  
石川東芝商品販売 綸 綸 サンデン販売 綸  
中川薬品器材 綸 綸 小銀治本店  
サノコ 綸 綸 北日商事 綸  
太洋興業 綸 綸 石川トヨベツ 綸  
石川日産自動車販売 綸 綸 エンパイヤ自動車 綸  
中央自動車工業 綸 南 陽 綸

## 問屋町交通安全対策協議会総会開催

問屋町交通安全対策協議会（会長井上三郎）は去る6月9日問屋町会館2階ホールにおいて第9回通常総会を開催した。

今年度の重点方針は、団地内事故件数が前年度にくらべ倍増しており、その発生形態は、交差点での出合頭事故が最も多い為「交差点での一時停止の励行」又路上に長時間駐車する社員車の「共同駐車場での駐車」推進をかかげており、安全運転管理者の積極的指導、運転者の協力を呼びかけた。

又、例年実施している優良運転者10名と、今年より、優良安全運転管理者2名の表彰を行い、安全運転を誓いあった。



### 優良運転者表彰名簿

15年以上	今川恵正	丸与商事㈱
"	中山金治	玉田商事㈱
10年以上	森田紀三男	㈱丸菱
5年以上	大弥正之	石織㈱
"	長山功	"
"	野尻安司	丸与商事㈱
"	定舎勝利	"
"	山岸春夫	㈱小堀酒造店
"	桜木文子	北陸通信工業㈱
"	黒田幸造	㈱松本紙店

### 優良安全運転管理者表彰

丸昌	砺波正司
小川商事㈱	山崎博史

### !! 駐車違反車両に貼り紙を !!

団地内での路上駐車車両のうち、交通法規に違反した駐車がみられ（交差点、横断歩道とその端から5m以内、歩道上駐車、二重駐車、ななめ駐車、バス停より10m以内、右側駐車等）、それが原因となり、事故がおきておりますので、今後、当会で選任した巡視員が違反車両のフロントガラスに駐車違反の張り紙をし、注意を呼びかけますので、運転者の方に周知徹底し、正しい駐車を御指導下さい。

# 私の趣味

## 盆栽 ①



① 真柏 樹令150年（山木）

## 須田株式会社 須田 忠一



② 黒松 樹令100年（山木）

### 問屋町地内事故状況

問屋団地内の事故件数及び従業員の関係する事故件数

年度	事故種別	発生件数	従業員の関係する加害者数	従業員の関係する被害者数
49年	人身事故	15	4	5
	物損事故	7	0	2
	合計	22	4	7
50年	人身事故	17	6	2
	物損事故	9	0	2
	合計	26	6	4
51年	人身事故	26	3	4
	物損事故	23	6	8
	合計	49	9	12

### 事故発生形態別表

種別 形態 年度	人 身				物 損			
	出合頭	側面	その他	計	出合頭	側面	その他	計
49	7	2	6	15	5	1	1	7
50	7	3	7	17	4	2	3	9
51	12	5	9	26	10	4	9	23

### 事故多発場所

年度	場 所
49年度	石川トヨベツ前
50年度	西口交差点、派出所前、多田与裏、石川トヨベツ前
51年度	多田与裏、派出所前

問屋センター造成当時はさながら西部劇のセットでも見るように建物だけが建ち並び、人通りもなく、勿論緑は目にしたくても見られないような広漠した街でした。私はこの街に緑をと思い盆栽を始めた。幸に日当たり、風通しの良い場所が充分にありましたので、年毎に一鉢一鉢とこの道のとりこになってしまいました。問屋センターの歴史と私の盆栽歴も共に10年を迎えます。どの樹にも鉢にもそれぞれの思い出があり、深い愛着を覚えるのです。

#### ① 真 柏

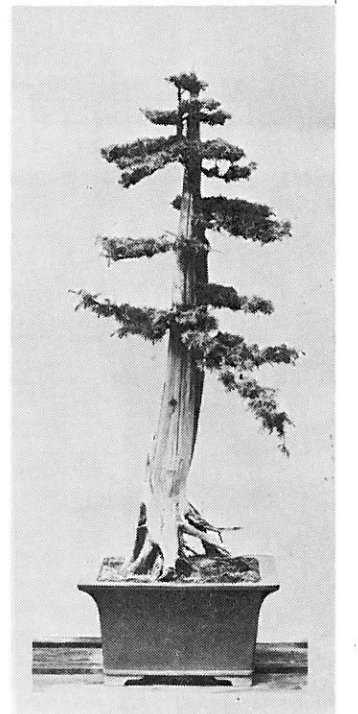
この樹は私がこの道に入った早い頃にもとめたもので、早10年余になります。真柏として完成されたもので、今後とも土用に芽ツミをし、枝を十分に作って行きます。掛け替えのない一鉢です。姿、根の張り等深山に孤立する大木を思わせる風情です。

#### ② 黒 松

この松は5年前に入手したもので、まだ未完成の樹です。土用に芽ツミ、秋に整枝、秋一冬に針金かけ、植替えは4、5年に一回と手入れをしております。今後もっと葉先を揃え、一の枝を完成させたいと思う。幹の荒れ、枝振り、これは私の自慢の一鉢です。

#### ③ 杜 松

この樹は思出深いもので、伊勢の山で昔、山採りされたのが、名古屋の業者から回り回って金沢の愛好家が所持していましたが、たまたま金沢の業者に預けてあったところ、春一番の潮風に当って、私が見た時は、葉も赤くなって氣息奄々、枯死寸前、こんな姿になったものを果して生返らす事が出来るか、甚だ覚束ない思いでしたが、幾星霜を過ぎた古木を枯死させるにしのびなく譲り受け、早速家に持ち帰り手当を施し、毎年培養を続けた結果漸く今の姿になりました。今後は下枝の一、二、三の枝を上部の枝のように厚く培養していく積りです。



③ 杜松 樹令200年（山木）